

令和6年度
事業報告及び附属明細書

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月 31日

公益財団法人さいたま市産業創造財団

I 法人の概況

1 設立年月日

平成 16 年 3 月 18 日

2 定款に定める目的

この法人は、さいたま市の特性を生かして、市内中小企業者、創業者等の支援を行うとともに、中小企業等に勤務する者の勤労者福祉向上を図ることにより、地域産業の振興及び豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 中小企業者等の経営強化及び技術力向上に係る相談・診断・助言に関する事業
- (2) 創業及び新事業創出の促進に関する事業
- (3) 中小企業等に必要な情報の収集及び提供に関する事業
- (4) 人材の育成に関する事業
- (5) 就労支援に関する事業
- (6) 産学官の交流に関する事業
- (7) 地域産業の調査研究に関する事業
- (8) 勤労者福祉に係る調査研究に関する事業
- (9) 勤労者福祉事業の推進に関する事業
- (10) 中小企業勤労者の福利厚生に関する事業
- (11) 金融相談に関する事業
- (12) 事業資金の貸付及びあっせんに関する事業
- (13) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

埼玉県 産業労働部 産業支援課

5 当該事業年度末日における事務所の状況

主たる事務所 さいたま市中央区下落合 5 丁目 4 番 3 号
従たる事務所 なし

6 職員に関する事項

令和7年3月31日現在

区 分	職員数	平均年齢
市派遣職員	1名	39歳
正職員	17名	45歳
契約職員	2名	46歳
非常勤職員	7名	57歳
臨時職員	8名	52歳
合計または平均	35名	49歳

7 株式を保有している場合の概要

該当なし

8 許可、認可、承認等に関する事項

許可・認可日	内 容	備 考 (根拠法令等)
平成16年4月1日	都道府県等中小企業支援センター	指定 (中小企業支援法)
平成25年2月1日	経営革新等支援機関	認定 (中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律)
平成25年9月2日	地域プラットフォーム	登録 (中小企業・小規模事業者デジタル創造等支援事業)

9 役員の氏名等

令和7年3月31日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	主たる役職
理事長	中村 雅範	常 勤	(公財)さいたま市産業創造財団 理事長
常務理事	会田 浩一	常 勤	(公財)さいたま市産業創造財団 常務理事
理事	石井 保	非常勤	さいたま市経済局 商工観光部長
理事	伊藤 麻美	非常勤	日本電鍍工業(株) 代表取締役
理事	大室 元信	非常勤	連合埼玉さいたま市地域協議会 議長
理事	加藤 和徳	非常勤	埼玉りそな銀行 常務執行役員
理事	加納 誠介	非常勤	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくばセンター次長
理事	佐原 雅史	非常勤	(特非)さいたま起業家協議会
理事	谷口 輝義	非常勤	協和精工(株) 代表取締役 会長
理事	橋本 久義	非常勤	政策研究大学院大学 名誉教授
理事	渡邊 伸治	非常勤	(株)渡辺製作所 代表取締役
監事	江田 元之	非常勤	(一社)埼玉県中小企業診断協会 代表監事
監事	大野 夏美	非常勤	関東信越税理士会大宮支部 理事

II 事業の状況

1 事業の経過及びその成果

●事業の概要

中小企業支援センター事業では、創業者や中小企業者が環境変化に対応しながらビジネスモデルを構築し、飛躍的な成長に繋がるよう、様々な支援を展開した。創業／新事業創出支援事業や相談事業では様々な経営課題に対してサポートを実施し、相談のみならず、各種支援メニューも活用し、その課題解決に取り組んだ。また、生産性革命支援事業では国のデジタル田園都市交付金を活用し、高付加価値サービス創出支援や副業・兼業活用支援等を実施し、企業価値の向上や人材活用に積極的に取り組む中小事業者等に対して、補助金交付や研修、セミナー、伴走支援を実施した。

さいたま市の施策に基づくプロジェクト事業では、企業の新たなビジネスチャンスの発掘を支援するため、オープンイノベーションの推進を行うとともに、国内外の展示会出展による販路開拓、技術交流支援に加え、国内外での人材育成支援を強化した。更にこれまで海外市場での販路開拓等に取り組んだことがない市内中小企業等が挑戦しやすい環境を構築するためにアジア市場等への調査等を実施した。

勤労者福祉サービスセンター事業では、会員の満足度向上を図るため、市内飲食店等とのタイアップによる地域密着型の補助事業を継続し、協力店舗の拡充を行った。また、慶弔等給付金や人間ドック受診料補助についてオンライン申請サービスを導入し、利便性の向上と事務の効率化を図った。情報発信については、SNSを活用し、LINEやInstagramなどで会員向け情報を定期的に発信することで、サービス利用の促進に努めた。さらに、収支の安定を見据え、新たな会員獲得に向けた営業活動や広報を継続して実施した。

(1) 企業支援課／事業企画課

中小企業支援センター事業

創業／新事業創出支援事業においては、市内創業者向けオンラインサロン「Startup! SAITAMA」にて、個別メンタリングや補助金等情報発信、リリースサポートプログラム、展示会出展支援補助金及び会員限定対面イベントを実施することで、会員の事業成長をサポートした。また、関係機関等と連携し市内スタートアップ事業者を発掘する等ネットワークを構築するとともに、更なるスタートアップ支援強化のため首都圏スタートアップエコシステムへ参加し、情報収集等を行った。

相談事業においては、特定創業支援等事業等の中小企業支援策を活用しながら、相談者に寄り添った丁寧かつ親身な対応を徹底した。また、金融機関連携成長支援事業については、各金融機関への訪問や金融機関担当者向け勉強会等を強化するなど、金融機関と連携しながら企業の抱える様々な経営課題を解決することで、企業の成長を後押しした。

生産性革命支援事業においては、研修形式の企業家プログラムを実施し、経営戦略から組織マネジメント、デジタルマーケティングなど幅広い知識習得とさらなる成長のための経営戦略策定支援を行った。また、脱炭素を新たなビジネスの機会とするための研究開発支援、高付加価値なサービスを創出するための支援、商品・サービスのブランド力向上を図るためのブランディング支援、企業が抱える人材だけでは解決で

きない高度な経営課題を解決するための副業・兼業人材活用支援を展開し、企業の成長を加速させるためのサポートを実施した。

DX推進支援事業においては、ビジネス変革を目指す「攻めのDX」と生産性向上を図る「守りのDX」をテーマに支援を実施した。また、DXの必要性を認識する段階と自社での活用を検討し実際にデジタル導入する段階に分けて支援事業を展開した。DXの啓発については、セミナー形式で実施し、自社での活用を検討する段階の企業向けに「DX×デザイン思考研修」、「kintoneで業務を見直し 効率化アプリを自分で作ろう研修」等を実施した。更に、個別企業のデジタル実装について、専門家によるハンズオン支援を行うとともに、補助事業を実施することで企業のデジタル化を後押しした。

さいたま市の施策に基づくプロジェクト事業

産学連携支援事業では、国の補助事業等の競争的資金獲得支援や大学との連携による人材高度化の支援を実施した。

次世代高度ものづくり企業の発掘と育成事業では、専門家派遣によるものづくり企業の生産性向上支援を行った。

リーディングエッジ認証企業支援事業では、さいたま市リーディングエッジ認証企業に対し、新事業展開・新製品開発調査費の補助、ソリューション提案力強化支援、国内展示会出展費の補助、国際競争力向上支援、高度人材獲得・育成支援、人的資本投資（研修参加費補助）等の総合的な支援を行った。

医療ものづくり都市構想推進支援事業では、国内の展示会及び学会に出展し、医師や医療機器関連企業とのネットワーク強化、大手医療機器メーカーとの個別マッチング支援を実施するとともに、新製品開発の上流工程（入口）における支援を実施した。

国際展開支援事業では、海外の医療機器部品の展示会に出展し、海外販路開拓を支援した。また、ドイツでの現地研修やミッション派遣を行い、ドイツ産業クラスターや米国カーネギーメロン大学と市内企業との連携や技術交流を促進した。

(2) 勤労者福祉サービスセンター

さらなる会員獲得を目指し、ダイレクトメールの送付、事業推進員による営業活動、関係機関との連携による情報提供など、各種広報活動を継続して実施した。しかし、年度末の会員数は8,278人となり、前年度末（8,434人）から減少した。減少の主な要因は、大口事業所の退会が3件あったことによるものであり、新規入会としては、小規模事業所の加入が堅調に続いた一方で、大口事業所の入会には至らなかったが、引き続き関係構築に努めていく。

サービス提供においては、地域経済の活性化を目的として、地域密着型の取り組みを継続した。具体的には、市内の飲食店や洋菓子店などとの連携拡充や、氷川参道沿いの店舗とのタイアップによる補助事業の実施など、地域連携について新たな試みを行うなど会員の満足度向上に取り組んだ。

また、慶弔等給付金や人間ドック受診料補助については、オンライン申請サービスを開始した。これにより、会員の利便性向上と職員の事務効率化を同時に実現した。

情報発信については、SNS を活用した取り組みを継続した。LINE や Instagram のフォロワー数は増加傾向にあり、各 SNS の特性を活かした情報発信を定期的に行うことで、会員へのタイムリーな情報提供を図った。

●事業の内容

1 創業／新事業創出支援事業（定款第4条第1項第2号）

(1) 創業者支援事業

創業者支援事業では、「Startup! SAITAMA」にて、令和5年度まで実施していた個別メンタリング、補助金等情報発信、リリースサポートプログラムに加え、新たに展示会出展支援補助金及び会員限定対面イベントを開催することで、Startup! SAITAMA 会員の事業成長をサポートした。

○Startup! SAITAMA 参加者：56名

※令和6年4月に会費有料化により一時28名まで減少した会員数を56名まで増加

○支援による主な成果：

- ・スモークイフリート 辻 健太郎 氏

埼玉県サーキュラーエコノミースタートアップビジネスプランコンテスト（CSUP）の最終審査会（11月12日）にて、特別賞（賞金30万円）を受賞。

- ・PROTON 落合 陽子 氏

SAITAMA Smile Women ピッチの最終審査会（11月16日）にて、審査員特別賞（サイタマ・レディース経営者クラブ賞）を受賞。

1) 中小企業診断士による伴走支援

中小企業診断士・左近 裕子 氏（ゆあれふと株式会社・代表取締役）が、専任コーディネーターとしてStartup! SAITAMA 会員とオンラインを中心に面談を実施し、課題の抽出やメンタリングの設定などの伴走支援を実施した。

○伴走支援実施回数

合計63回（4月：7回、5月：11回、6月：7回、7月：4回、8月：4回、9月：12回、10月：5回、11月：4回、12月：1回、1月：3回、2月：5回）

2) 各領域の専門家による個別メンタリング

イグジット経験のある起業家、ベンチャーキャピタリスト、有名ベンチャーの共同創業者、マーケターなど、各領域の専門家が、個別課題に応じてメンタリング（オンライン中心）を実施した。

○メンター一覧（12名）

氏名	所属	専門領域
河原 あずさ	Potage株式会社 代表取締役（前職：富士通）	新規事業開発、コミュニティ運営
雨宮 秀仁	イノベーション・エンジン株式会社 インベストメント・パートナー	VC、資金調達
土屋 仁志	株式会社加須畜産 あぐり×ばんく （前職：武蔵野銀行）	金融、経営管理、農業
金井 毅	ニューホライズンコレクティブ合同会	法人営業、マーチャнда

	社（電通）	イジング
戸田 達昭	シナプテック株式会社 代表取締役 (18社の社外取締役を兼任)	起業、研究開発（バイオ）、産学連携
藤田 祐司	Peatix Japan 株式会社 共同創業者・CMO	デジタルマーケティング、イベント運営
倉増 京平	株式会社ライフ&ワーク 代表取締役 (前職：電通デジタル)	ビジネスモデル、事業計画、生成AI
小笠原富美子	合同会社サクセシオ 代表（中小企業診断士）	インターネット集客、SNS運用
清永 健一	株式会社展示会営業マーケティング 代表取締役	展示会営業
坂本 真人	ブランド・コンパス 代表（中小企業診断士）	PR、ブランディング
中山 望	株式会社ホープ・ラボ 代表取締役 (前職：NHK ディレクター)	デジタルマーケティング、動画プロデュース
知場 啓志	株式会社 ONZO 創業者（2024年6月売却）	市内起業家、EC開発、資金調達

○メンタリング実施件数

合計 125回（4月：6回、5月：12回、6月：11回、7月：9回、8月：9回、9月：17回、10月：8回、11月：13回、12月：11回、1月：11回、2月：18回）

3) 補助金情報の共有（令和6年度の投稿数：70件）

Facebookの非公開グループにて、国、埼玉県、さいたま市などが募集している補助金・助成金・支援事業・イベントなどの情報を、随時共有した。

4) 会員向けイベント開催（年6回）

販路開拓及び会員間ネットワーキングを目的として全6回の会員向けイベントを開催した（すべて「まるまるひがしにほん 2階ビジネス交流サロン」にて実施）。

今年度からStartup! SAITAMA登録メンターの中からセミナー講師を選任することで、セミナー内容を自社で実践する際に個別メンタリングによるフォローアップをできる体制とした。

① Startup! SAITAMA Meetup（会員限定）

実施日：6月27日（木）

参加者数：25名（会員17名、メンター8名）

概要：会員およびメンターが集う交流イベント。会員による自己紹介や、相互理解を深めるグループワークを実施。終了後、有志で交流会を実施。

② 展示会 200%活用術（オープンセミナー）

実施日：7月25日（木）

参加者数：23名（会員4名）

講師：清永 健一 氏（株式会社展示会営業マーケティング 代表取締役）

概要：展示会に関する著書を5冊出版したプロが、展示会を成功させるための事前、当日、事後のコツを伝授。当日、事務局より「展示会出展支援補助金」の概要説明。

③ 売れる仕組み作り～法人営業編～（会員限定）

実施日：9月11日（水）

参加者数：8名

講師：金井 毅 氏（ニューホライズンコレクティブ合同会社 売れる仕組み創造室）

概要：お得意様の「売り」を「創る」提案型営業手法をマーケティング、トレンド、マーチャンダイジングなど様々な視点から解説。

④ 限られたリソースで最大の効果を生み出すためのネット集客術（会員限定）

実施日：10月3日（木）

参加者数：11名

講師：小笠原 富美子 氏（合同会社サクセシオ 代表）

概要：ホームページ、SNS、LINE公式アカウント、Google ビジネスプロフィールの使い分け&効果的な活用法を、すぐ実践できるよう具体的に解説。

⑤ 生成AIを使い倒す10のコツ（会員限定）

実施日：11月6日（水）

参加者数：15名

講師：倉増 京平 氏（株式会社ライフ&ワーク 代表取締役）

概要：「いかに効率的にマーケティング活動を実践するか」という切り口で、生成AIを事業で活用するための、具体的な考え方や方法論を伝授。

⑥ Startup! SAITAMA 大忘年会（会員限定）

実施日：12月5日（木）

参加者数：28名（会員21名、メンター7名）

概要：Startup! SAITAMAの会員、メンターが集う交流イベント。メンターから各専門分野におけるトレンドを紹介するピッチを実施したほか、各会員が商品や事業内容を紹介する展示会を開催。終了後、有志で交流会を実施。

5) 展示会出展支援

Startup! SAITAMA会員の販路開拓を目的として、以下支援を実施した。

・国内展示会出展補助金

補助率：補助対象経費の1/2 補助上限15万円

補助件数：1件

補助額：52,500円

・セミナー「展示会200%活用術」開催

・清永健一氏による個別メンタリング

6) リリースサポートプログラム

新商品・サービスをメディアに告知したいさいたま市内の事業者（個人事業主を含む）を対象として、プレスリリースの作成および配信を支援するプログラムを実施した。

○プログラム概要

講師：坂本 真人 氏（ブランド・コンパス代表）

対象：さいたま市内の事業者（個人事業主含む）

参加費：33,000 円（Startup! SAITAMA 会員は無料）

支援内容：・坂本講師による PR セミナー開催

- ・坂本講師によるプレスリリース等の個別添削サポート
- ・プレスリリース用素材（動画、写真）の撮影サービス
- ・プレスリリース配信サービス（PR TIMES）の費用補助

○プログラム採択者

応募 13 件の中から、書類選考の結果、以下 7 者を採択して支援を実施した。

- ・スモークイフリート 辻 健太郎 氏（Startup! SAITAMA 会員）
- ・ことのぼ 朝比奈 正人 氏（Startup! SAITAMA 会員）
- ・PROTON 落合 陽子 氏（Startup! SAITAMA 会員）
- ・純日本紅茶合同会社 中峰 剛 氏（Startup! SAITAMA 会員）
- ・カーショップ北斗星 川口 良一 氏
- ・株式会社ロイヤルコーポレーション 新改 僚基 氏
- ・株式会社日本製衡所 遊馬 悠貴 氏

○プログラム実施結果

PR セミナー開催（まるまるひがしにほん 2 階ビジネス交流サロン）

① PR の基本が分かるプレスリリースセミナー（オープンセミナー）

実施日：8 月 1 日（木）

参加者数：23 名（会員 2 名）

概要：PR のプロが講師を務め、「そもそもプレスリリースとは？」「PR 戦略の考え方」「プレスリリースの構成方法」などを丁寧に解説することにより、プレスリリース作成のコツ修得を目指す。終了時にリリースサポートプログラムに関する告知を実施。

② リリースサポートプログラム キックオフ MTG

実施日：9 月 12 日（木）

参加者数：5 名

概要：リリースサポートプログラム採択者（7 名）を対象に、「統合型マーケティングコミュニケーションの考え方」「広報の役割」「PR 戦略の考え方」「効果的なプレスリリースおよび STORY の組み立て方」をワークショップ形式で講義後、各社のプレスリリース配信へ向けた個別支援スケジュールを調整。

プレスリリース等配信

採択者	タイトル/URL
スモークイフ リート 辻健太朗氏	<p>醤油粕で作る燻製材！醤油粕×燻製という新たな健康和食文化を広めるパートナーを大募集！！</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000149540.html</p>
	<p>埼玉発！世界初！！醤油粕を使った燻製材を製品化に成功。燻製好きだから気づいた醤油粕の香りを活かすアップサイクルビジネス！！</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/r16PqGS5GVB</p>
ことのば 朝比奈正人氏	<p>わずか3日間で、外国人材を即戦力に！『ことのば』が開発、“やさしい日本語”活用プログラム。</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000149517.html</p>
	<p>言葉の壁、文化の壁を乗り越える。“やさしい日本語”プログラムで、働きやすい職場をつくる。</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/rNLEZ9sGR0B</p>
PROTON 落合陽子氏	<p>【業界初！】助産師による働くお母さん支援サービス「Bridge！」。子育てしやすく女性が長く働ける会社づくりをお手伝いします。</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000154123.html</p>
	<p>【新しい発想】「寄り添いなさい、耳を傾けなさい。」助産師として、こうありたいを追求したら、「会社にいる助産師」の発想へ。子育てしやすく、働きやすい会社へ助産師がお手伝いします。</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/rE6oNoIQe4b</p>
純日本紅茶合 同会社 中峰剛氏	<p>「純日本紅茶」、英国品評会で、二年連続でワンスター賞受賞。受賞紅茶の販売パートナー募集のため試飲会を開催します。</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000155701.html</p>
	<p>価値が低いとされてきた二番茶を世界に通用する和紅茶に。ある和紅茶研究家の17年史。</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/xgYdjJilKjb?fbclid</p>
カーショップ 北斗星 川口良一氏	<p>海なし県埼玉で、天然魚にこだわる居酒屋Komachi。開店一周年を記念して、「ギョギョッと天然魚“利き魚名人戦”」を開催。</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000156546.html</p>
	<p>人の縁を紡いできたなら、中古車販売店の私が居酒屋のオーナーに。CARSHOP北斗星の異種格闘技的事業展開ストーリー。</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/x1eGm0HvnAx</p>
株式会社ロイ ヤルコーポレ ーション 新改僚基氏	<p><SAUNEA>日本初、電源設備不要のアウトドアサウナ向けペレットストーブ「ALKU（アルク）」を発表。第6回「サウナフェア」にも出展</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000147706.html</p>
	<p><SAUNEA>“極上のととのい”を全国に！日本初、建築基準法に適合した可動式サウナ【PIONEERI（ピオネーリ）】発売。12月に体験会も実施。</p> <p>https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000147706.html</p>
	<p>“極上のととのい”を届けたい。日本初、建築基準法に適合したアウトドアサウナ「PIONEERI（ピオネーリ）」の開発ストーリー</p> <p>https://prtimes.jp/story/detail/B5wLjyHDEpr</p>

株式会社日本製衡所 遊馬悠貴氏	過積載防止対策の省人化省力化にIOTの力。 過積載管理クラウドシステム「NIKKO Cloud RS®」を本格提供開始 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000151229.html
	トラックの『過積載』による事故をなくせ。とことん現場主義の産業用計量器メーカー、日本製衡所の挑戦。 https://prtimes.jp/story/detail/rE6Z06cQvdb

(2)新ビジネス／新事業創出支援事業

会員料金見直し及び関係機関との連携等を行い、「Startup! SAITAMA」の会員数を増加させることで、市内スタートアップ事業者とのネットワークを構築した。また、首都圏スタートアップエコシステムへ参加し周辺地域の先進的取り組みに関する情報収集等を行った。

1) 市内スタートアップ事業者とのネットワーク構築

令和6年7月よりStartup! SAITAMAの会費を再度無償化（令和6年4月に会費有料化（1,000円/月）した上で、会員獲得用のチラシを制作してさいたま商工会議所会報誌（13,000部）および埼玉県産業振興公社会報誌（2,000部）への折込、埼玉りそな銀行取引先への事業紹介メール配信、候補事業者へのダイレクトメール送信、埼玉県内のピッチコンテストでのネットワーキングなどを行うことで、28名追加で会員として獲得することができた。

2) 首都圏スタートアップエコシステムへの参加

今後さいたま市におけるスタートアップ支援を本格化させるためには、周辺地域の先進的取り組みに関する情報収集や、さいたま市内スタートアップとのつながりを持つ産学官金の事業者とのネットワークが不可欠となる。そのため、首都圏のスタートアップエコシステムへの参加を図った。

具体的には、全国の行政機関のスタートアップ支援担当者が集まる「All Japan Ecosystem Meetup 2024（11/28、Tokyo Innovation Base）」に参加したほか、東京圏一円のスタートアップ関連事業者が集積するコミュニティ「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」に入会した。

2 相談事業（定款第4条第1項第1・2号）

(1)窓口相談事業

市内の中小企業者や創業者等に対し、財団窓口やオンラインで中小企業診断士の窓口相談員が経営・創業相談に対応した。

○窓口相談件数：486件

○訪問相談件数：318件

計：804件

(2)専門家派遣事業

中小企業者等が抱える様々な課題に対し、財団の登録専門家を企業に派遣し、経営、技術、販促等に対するアドバイスをを行った。

○専門家派遣回数：21回（実施企業数：5社）

業種：製造業2社、卸小売業1社、サービス業1社、その他1社

※上記のうち、創業者向け1回（実施企業数：1社）、業種：サービス業1社

(3) 金融機関連携成長支援事業

地域金融機関と連携し、持続的成長や売上げの減少など経営的に課題を抱える企業に対して、コーディネーター及び専門家の派遣による事業計画策定、事業承継支援、及び社内体制の効率化等の支援を行った。

○覚書締結金融機関数：13金融機関（令和7年3月31日現在）

○コーディネーター（中小企業診断士）：4名

○専門家派遣回数：156回（実施企業数：38社）

業種：建設業6社、製造業6社、卸売・小売業9社、サービス業10社、飲食業3社、
運送業2社、不動産業1社、その他1社

○相談会・勉強会の実施

1) 勉強会

金融機関の各支店にて、当財団の事業紹介、金融機関連携成長支援事業の紹介、勉強会を全19回行った。また、コーディネーターによる企業訪問時のヒアリングポイントのレクチャーを実施した。

① 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年4月18日

会 場：青木信用金庫 南浦和支店（浦和支店、埼大通支店と合同開催）

② 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年6月11日 会 場：川口信用金庫 東浦和駅前支店

③ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年7月4日 会 場：川口信用金庫 大和田支店

④ 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年7月17日 会 場：青木信用金庫 浦和支店

⑤ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年7月18日

会 場：川口信用金庫 土呂支店（東大宮支店と合同開催）

⑥ 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年7月25日 会 場：青木信用金庫 大宮支店

⑦ 東京信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年8月6日 会 場：東京信用金庫 浦和白幡支店

⑧ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年9月3日 会 場：川口信用金庫 浦和道場支店

⑨ 飯能信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年9月13日 会 場：飯能信用金庫 さいたま中央支店

⑩ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年10月6日 会 場：川口信用金庫 大宮支店

⑪ 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会

実施日：令和6年10月16日 会 場：青木信用金庫 尾間木支店

- ⑫ 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和6年10月23日 会場：青木信用金庫 芝前川支店
- ⑬ 東和銀行 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和6年11月20日 会場：東和銀行 浦和支店
- ⑭ 東和銀行 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和6年11月27日 会場：東和銀行 岩槻支店
- ⑮ 青木信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和6年12月6日 会場：青木信用金庫 指扇支店
- ⑯ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和6年12月9日 会場：川口信用金庫 与野支店
- ⑰ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和7年1月23日 会場：川口信用金庫 武蔵浦和支店
- ⑱ 埼玉縣信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和7年2月12日 会場：埼玉縣信用金庫 大東支店
- ⑲ 川口信用金庫 金融機関連携成長支援事業支店勉強会
実施日：令和7年2月18日 会場：川口信用金庫 岩槻支店

2) 相談会

企業が抱える課題を当事業コーディネーターとの面談(1社1時間)によって解決の糸口を探し出し、終了後には必要に応じて専門家派遣を提案、実施した。

- ① 川口信用金庫 経営相談会
実施日：令和6年11月7日 会場：さいたま市産業文化センター
参加者：3社
- ② 埼玉縣信用金庫 さいしんコラボ経営課題相談会
実施日：令和7年1月28日 会場：埼玉縣信用金庫 浦和支店
参加者：8社(都合により1社欠席)

3 生産性革命支援事業 (定款第4条第1項第1・2・3・4号)

(1)ベンチャー企業発掘・支援事業

競争力強化・持続手な成長を望む企業の経営者または幹部候補・事業責任者をターゲットに「さいたま企業家プログラム」を開講し、企業の成長を加速させる経営理論の習得、事業戦略の策定・実行におけるサポートを行った。昨年度までベーシックコース(新規受講者向け)とアドバンスコース(過年度受講者向け)の2コース実施していたが、今年度は事業戦略策定を軸としたコースに一本化して実施した。

○参加企業数：11社(15名)

1) 経営理論講義

回数：全10回

講師：福永 雅文 氏 (特定非営利活動法人ランチェスター協会 常務理事、
戦国マーケティング株式会社 代表取締役)

藤田 耕司 氏 (一般社団法人日本経営心理士協会 代表理事)

四宮 浩二 氏 (株式会社エージェント 代表取締役)

小野 晴世 氏 (Web活用経営株式会社 代表取締役)

酒向 敦 氏（株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ 取締役、
サコウマネジメントオフィス代表）

事例企業：鈴木 滋朗 氏（株式会社最上インクス 代表取締役）

実施期間：令和6年7月3日（水）～令和6年12月4日（水）

会 場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター

※一部プログラムについてはオンライン対応

2) 個別相談

個別相談：33回（各社3回）、別途希望に応じて実施18回

3) 事業戦略発表会

発表者：11社

実施日：令和7年2月26日（水）

会 場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター

4) 企業訪問（1社）

伝統を守りながらも新事業展開に取り組む先進事例企業の経営者を訪問し、現在に至るまでの経験、知恵を直接学ぶ場を提供した。

企業名：株式会社鮑屋

実施日：令和7年2月3日（月）

会 場：株式会社鮑屋 本社（神奈川県小田原市）

(2) 脱炭素事業者支援事業

さいたま市内企業の脱炭素製品開発を推進するため、「さいたま市カーボンニュートラルGX製品技術開発補助事業」を公募し、採択企業のGX製品開発を支援した。

関東経済産業局（資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課）と連携し、GX製品開発を推進するさいたま市内企業について情報交換を実施、関東経済産業局が実施する中小企業支援業務を活用した。

○さいたま市カーボンニュートラルGX製品技術開発補助事業

内 容：さいたま市内の企業及び団体がカーボンニュートラル（以下、脱炭素）へ向けた製品や技術開発を目指し、自らが保有する製品やサービス等の各種経営資源を活かし、新技術・新製品の開発に取り組む経費の一部を財団が補助することでその実現を着実なものとし、持続的な成長・発展を促進するとともに、地域産業の振興に寄与することを目的とする。

補助率：補助対象経費の2/3 補助上限500万円

申請件数：6件 申請金額：29,906,000円

採択件数：3件 採択金額：15,000,000円

交付件数：3件 交付金額：15,000,000円

○大学におけるGX関連技術・シーズの発掘

内 容：東京電機大学、芝浦工業大学と連携し、下記大学が抱えるGX・カーボンニュートラルに関連する技術、シーズを提示させることで、次年度以降のカーボンニュートラルにおける産学連携マッチングの方向性を模索した。東京電機大学からは8分野21件のシーズが、芝浦工業大学からは4分野9件のシーズが提出され、次年度以降提出されたシーズ一覧をもって、企業

へ産学連携の打診を行う。

(3) 高付加価値サービス創出支援事業

さいたま市内企業においてオープンイノベーション手法を活用し、自社製品やサービスの高付加価値化による企業価値の向上を目的とした支援を実施した。企業によりオープンイノベーションや高付加価値サービスの進行度合いにより変わるステージの各々の支援体制を考慮し、セミナー、調査（ヒアリング）、個別支援（ワークショップ）、個別相談、補助金制度を新たに構築した。

○セミナーの開催（全2回）

1) 第1回 オンライン開催

テーマ：いま中堅・中小企業に求められる外部連携の在り方～小さな一歩から始めるためのマインド養成講座～

実施日：令和6年10月29日（火）

講師：株式会社ゼロワンブースター 取締役 加藤剛広

参加者：申込54名（うち市内29名）、当日参加46名

内容：オープンイノベーションの概念説明や外部連携の事例紹介を通じて、中堅・中小企業がオープンイノベーションの第一歩を踏み出す際に必要な考え方やその方法を説明した。

2) 第2回 リアル開催

テーマ：中堅・中小企業に新規事業開発は必要か ～高付加価値サービスの意義とその手法～

実施日：令和7年2月18日（火）

講師：株式会社ゼロワンブースター 代表取締役 合田ジョージ

参加者：申込57名（うち市内38名）、当日参加47名

内容：中堅・中小企業が新規事業開発に取り組むべき背景と、実践的な手法を解説した。新規事業開発で陥りがちな間違いや、高付加価値サービスの構築に必要なポイントに触れ、新規事業開発に取り組むために必要な情報を説明した。

○調査（ヒアリング）の実施（20社）

高付加価値サービスへの取り組み状況を把握するためのヒアリング項目を作成した上で、高付加価値サービスに関心がありそうな市内企業20社を選定し、オープンイノベーションに対する興味や理解度、取り組み状況、具体的な支援策ニーズなどについてヒアリングを実施し、その内容について調査報告レポートを作成した。

調査方法：2段階方式とし、1段階目はWebアンケート方式にて実施し、55社の回答を得た。アンケート回答のうち、ヒアリングに協力出来るかの項目を設定し、回答に可能といただいた20社に対してオンラインによる直接ヒアリングを行った。

調査内容：オープンイノベーション・高付加価値サービスについての取り組み状況

の確認。取り組んでいる企業については取り組んでいる内容について、取り組んでいない企業については取り組んでいない理由についてのヒアリングを実施した。

回答の一部として、オープンイノベーションに「取り組んでいる、もしくは過去取り組んだことがある」と回答した企業（35社）における外部連携先の属性については、仕入れ先と答えた企業が最も多く16社で、次いで異業種他社、顧客という順になった。

また、イノベーション、オープンイノベーションのいずれについても、8割以上がその必要性を感じているという結果になった。

○個別支援（ワークショップ）の実施（4社）

最大5社の参加企業を募り、4社の公募となった。1回2時間程度、全3回の集中的な講義と、講義間での個別メンタリングを行った。講義では、参加する企業に対して、ワークショップ形式などを用いて具体的にオープンイノベーションの事例や具体例を用いて説明を行うとともに、自社での取り組みに繋がるようなアイデア出し等を行った。

参加企業：株式会社金子製作所、株式会社シンミドウ、株式会社R&A、アールエフ・テクノロジー株式会社

講師：株式会社ゼロワンブースター 取締役 加藤剛広

日程：第1回：令和6年12月10日（火）

戦略の検討、事業アイデアの発掘

第2回：令和7年1月16日（木）

事業アイデアの具体化

第3回：令和7年2月5日（水）

新規事業案の構築と外部連携先の具体化

各回の講義以後、各社1回1時間、オンラインで実施

メンター：株式会社ゼロワンブースター 事業創造ソリューション部

シニアマネージャー 矢野口聡

第2回開催以降の参加企業は株式会社金子製作所、株式会社シンミドウ、株式会社R&Aの3社となった。

○個別相談の実施（4社）

最大12社の参加企業を募り、9件の申込みがあった。1回1時間程度、オンラインによる各企業の相談内容について個別メンタリングを行った。

○さいたま市高付加価値サービス開発支援補助金

内容：2機関（中小企業／大企業／大学等研究機関など）以上の連携体で既存事業とは異なる分野の新商品／新役務サービスや技術開発を行うことで、申請企業がより競争力の高い高付加価値な製品／役務の開発（オープンイノベーションを用いた製品／役務の開発）を行うさいたま市内中小企業（以下、市内中小企業）の支援を目的として補助事業を行った。

補助率：補助対象経費の2/3 補助上限100万円

申請件数：6件 申請金額：6,000,000円

採択件数：4件 採択金額：4,000,000円

交付件数：4件 交付金額：3,558,840円

○さいたま市における高付加価値サービス創出支援プロモーション

内容：さいたま市内企業の高付加価値サービスに関する意識付けをはかる目的で本年度に実施した高付加価値サービス創出支援事業に関わる内容全体をWebページに公開し、また、リーフレットデータの作成を行い、高付加価値サービスの創出、ひいては企業価値の向上について機運醸成に繋げる。

(4)ブランドプロモーションプログラム支援事業

ブランディングサポーターがワークショップ、個別支援等を実施し、現状把握からコンセプト立案、外部発信のアドバイスまで、ブランディングに必要な支援を実施した。以下の支援内容実施後、各社個別支援を10回程度実施。各社の望む分野におけるブランディングをともに構築し、パッケージデザイン、ブランド戦略、ロゴ、イメージ動画などのプロダクト作成を行った。

○ブランディング内容

1) 参加企業

- ・株式会社河村屋／看板商品「大福神漬」のリブランディング（昨年継続）
目的：看板商品である『大福神漬』を売上・認知（社内外）の面において本当の看板商品にしたい。
成果物：大福神漬についての再考、再構築
大福神漬のブランドコンセプト、メッセージの作成
ブランドコミュニケーションの構築（ロゴ、パッケージ）
- ・高田製薬株式会社／モバイルファーマシー事業の立ち上げ・ブランディング
試作品サブリ（FUTRICO）のパッケージデザイン
目的：移動式ファーマシー事業の立ち上げについて、認知度を高めるためのロゴ等のイメージ戦略・ブランド化に伴うツール作成
試作品サブリ（FUTRICO）のパッケージデザイン
成果物：移動式ファーマシー事業についての構築が途中困難となったため、試作品サブリ（FUTRICO）のパッケージデザインの完成
- ・株式会社朝日ラバー／認知度向上、既存深耕、新規開拓、社内への意識改革
目的：インナーブランディングによる自社事業のアピール度や企業価値向上
成果物：ブランドブックおよびブランドイメージの完成
- ・トキタ種苗株式会社／一般・学生向けの情報発信を目的としたwebサイトのコンテンツ作成
目的：種苗メーカーとしての認知度向上
成果物：企業ブランドWebページの完成
- ・クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社／通信型ドライブレコーダー“SAFE-DR”サービスの訴求
目的：新規顧客の獲得のための訴求手段の完成

- 成果物：自社製品 SAFE-DR for BUS のブランドデザイン完成及びパンフレット作成
- 2) 講師：市川 潤 氏 (株式会社ノリシロン) 瀧脇 大典 氏 (Hactac 株式会社)
廣瀬 敦 氏 (株式会社ハルファ) 中山 裕介 氏 (プロダクトデザイナー)
長井 康行 氏 (アートディレクター)、大沼 勇樹 氏 (ブランドデザイナー)
一) 吉岡 健太朗 氏 (合同会社 MAREMI)

3) 支援内容

- ①ブランディングワークショップ1回目 (リアル開催)
実施日：6月21日 (金) 参加者：5社16名
- ②ブランディングワークショップ2回目 (リアル開催)
実施日：6月28日 (金) 参加者：5社18名

(5) 副業・兼業人材活用イノベーション事業

市内企業が抱える多様な経営課題及び深刻化する人材不足に対応すべく、高度な知識及び技術を有する民間企業に在籍する人材を活用し、各企業に兼業・副業人材を投入することで、その解決を支援した。

- 内 容：兼業・副業人材の応募促進に向け、本業務の内容及び求人票、並びにさいたま市の魅力等の効果的なPRを実施することで兼業・副業人材の確保を行った。また、派遣受け入れのニーズある企業 (参加企業) に対して面談の実施に向けて必要な調整や助言等を行い、参加企業と兼業・副業人材とマッチングの合意、および参加企業と本業務受託者との間で委託契約締結等マッチングに向けた調整を行った。なお、プロジェクト実施期間を3か月以上となるよう支援した。

○支援件数：10社

- 1) 株式会社ボイスクリエーションシュクル
WEBマーケティングにおける集客を自走できるように体制構築を支援
- 2) 有限会社さいたま造園
次世代の緑化事業をテーマに新規事業立案支援を実施
- 3) 株式会社ダイゴウ
EC販売立ち上げから商品掲載をサポート。更に、サイトの運営体制の強化を支援。
- 4) 有限会社メディアリミックスコミュニケーションズ
新事業の企画案を提示し、事業アイデア化の促進に寄与。
- 5) 株式会社シンミドウ
indeed から求人記事と企業名をスクレイピングするアプリを開発
- 6) 株式会社浦和製作所
EDI (受発注管理) の構築を支援
- 7) 株式会社 Asia
WEB広告の改善、不正クリック対策ツールの導入、SEO対策を実施
- 8) 株式会社ケント・コーポレーション
2周年記念キャンペーンの広告調査と集客施策決定及び実施を支援
- 9) 株式会社エアスペース MMC

イベントに対する即戦力として制作・ディレクターとしてイベント企画から SNS 管理まで支援

10) 株式会社 enowa

AI や業務受託人材を中心とした組織づくりを目指す上での、採用方針及び方向性を明確化。

4 DX推進支援事業 (定款第4条第1項第1・2・4号)

円安・物価高など厳しい経営環境の中、更なる業務改善や生産性向上に取り組む企業に対して、業務効率化や省人化、データの活用方法など、デジタルトランスフォーメーションを推進し、多方面からのアプローチを通じた支援を実施した。

○ハンズオン支援

内 容：地域中小企業のデジタル化を推進するコーディネーターを配置し、課題の抽出と整理、業務フロー分析、デジタル技術を活用した改善提案と実装支援を実施した。支援テーマは、人事労務業務改善、ネットワーク・セキュリティ改善、WEB マーケティング活用、採用の効率化など多岐にわたる支援を実施した。

支援件数：52 社

○DX推進支援に関するセミナー

1) 「DXビジネスモデル変革セミナー」

内 容：「DXとビジネスモデル」田中 薫 氏 (中小企業診断士)

「デジタル技術を活用して新たなビジネスに取り組む企業の事例紹介」

堀 哲郎 氏 (らしく株式会社 代表取締役)

長野 克己 氏 (合同会社コトブク 営業主幹)

実施日：5月29日(水) 会 場：オンライン 参加者：24名

2) kintone で業務を見直し 効率化アプリを自分で作ろう研修

内 容：①業務を可視化することで、自身で課題を理解し自身で解決策を考えるフローを理解する

②kintone のアプリ制作を通じて、課題解決を自身で構築する

講 師：平松 薫 氏 (株式会社コムラッドファームジャパン コンサルタント)

実施日：7月30日(火)、8月6日(火)、8月20日(火)、8月27日(火)

9月3日(火)、9月10日(火)、9月17日(火)

会 場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター

参加者：15社22名

3) DX×デザイン思考研修

<オープンウェビナー>

内 容：デザイン思考の概要説明、新規事業を検討する際のデザイン思考の有益性の説明。

講 師：ビートラックスジャパン合同会社

サービスデザインスペシャリスト 前田 瑞歩 氏

会 場：オンライン開催
参加者：21 社 36 名
実施日：7 月 23 日（火）、8 月 6 日（火）

<基礎コース>

内 容：事業再構築を目指す企業に対して、「デザイン経営」の基礎知識の理解、マインドセットの変革につなげるため、「デザイン思考」を学び、新規事業創出における方法論を学び、自社新規事業案をブラッシュアップした。

講 師：ビートラックスジャパン合同会社
サービスデザインスペシャリスト 前田 瑞歩 氏
ビジネスプロデューサー 小澤 裕治 氏
デザインアソシエイト 木全 真理 氏

会 場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター、貸会議室 7F

参加者：5 社 11 名

実施日：9 月 26 日（木）、10 月 3 日（木）、10 月 10 日（木）、10 月 17 日（木）
10 月 24 日（木）、10 月 31 日（木）、11 月 7 日（木）、11 月 14 日（木）

<応用コース>

内 容：基礎コースの受講者を中心に、デザイン思考によるさらなる顧客分析、新規事業の思索を行うことで、自社の新しいビジネス開発を目指す実践的な研修を実施した。

講 師：ビートラックスジャパン合同会社
サービスデザインスペシャリスト 前田 瑞歩 氏
ビジネスプロデューサー 小澤 裕治 氏
デザインアソシエイト 木全 真理 氏

会 場：まるまるひがしにほん、貸会議室 7F

参加者：4 社 8 名

実施日：11 月 28 日（木）、12 月 5 日（木）、12 月 12 日（木）、12 月 19 日（木）
12 月 26 日（木） +各社 1 回のオンラインメンタリング

4) 「店舗ビジネス向け集客・顧客化のためのDXセミナー」

内 容：飲食・小売・サービスなど実店舗を持たれている事業者さまを対象にDXツールを活用し、集客・顧客化の方法を伝える。

講 師：宮本 ヒロシ 氏（合同会社 I.C.G 代表社員）

実施日：1 月 21 日（火）、1 月 28 日（火）、2 月 4 日（火）

会 場：オンライン

参加者：45 社 49 名

5) 「3回で分かる 中小企業の生成AI活用ロードマップセミナー」

内 容：業務での生成AI活用方法や、中小企業における生成AIの活用事例、2025年時点での生成AIトレンドなどを伝えることで、業務効率化の方法を伝える。

講師：池田 朋弘 氏（株式会社 Workstyle Evolution 代表取締役 CEO）

実施日：2月20日（木）、2月27日（木）、3月6日（木）

会場：オンライン

参加者：127社 275名

○DX推進支援に関する補助金

1) デジタル技術活用新ビジネス・新サービス開発補助金

内容：新たにビジネスモデルの変革を目指す中小企業が最新のデジタル技術を活用し、自らが保有する製品やサービス等の各種経営資源を活かし、稼ぐ力の向上に取り組む経費の一部を補助することにより、持続的な成長・発展を促進するとともに、地域産業の振興に寄与することを目的として実施した。

補助率：補助対象経費の2/3 補助上限 500万円

申請件数：4件 申請金額：20,000,000円

採択件数：2件 採択金額：10,000,000円

交付件数：2件 交付金額：9,755,000円

2) さいたま市DX推進補助金

内容：生産性向上を図り、限られた経営資源を付加価値の高い取り組みに集中させ、新たな成長を目指す中小企業を対象とした。デジタル技術の導入および活用に必要な経費の一部を補助することで、持続的な成長・発展を促進し、併せて地域産業の振興に寄与することを目的として実施した。

補助率：補助対象経費の2/3 補助上限 40万円

申請件数：64件 申請金額：21,679,000円

採択件数：42件 採択金額：14,974,000円

交付件数：41件 交付金額：14,014,000円

（内、専用サイト構築等による販売力向上 7件）

（内、営業支援システム等による営業力強化 6件）

（内、人事労務関係のシステム活用による効率化 6件）

（内、業務管理、効率化システム導入 12件）

（内、ネットワーク環境構築等による働き方改革 5件）

（内、その他固有のITツールの活用 5件）

○グローバルデジタルイノベーションプログラム

1) グローバル顧客価値向上補助金

内容：少子化による国内市場縮小や日本の国際競争力の低下が進展する中で、積極的に海外市場の開拓を目指すことは、企業存続において非常に重要な要素である。海外の具体的な顧客を明確化し、海外市場向けに最適化したアプローチによるマーケティング活動を計画的に実施するための調査経費を補助した。

補助率：補助対象経費の2/3 補助上限 200万円

申請件数：6件 申請金額：11,800,000円

採択件数：5件 採択金額：7,800,000円

交付件数：5件 交付金額：7,413,000円

2) グローバルビジネスチャレンジプログラム

内容：本プログラムは、海外ビジネスの誤った把握・認識からくる過剰な日本製品への自信や、リスクを回避してラクな成功の道を模索するアプローチから脱却を図るため、今一度グローバルのビジネスシーンに対する正しい認識作りから始め、具体的なアクションに繋げることを目的として実施した。

講師：大山 哲生 氏 (Skylight America Inc. CEO)

村岡 滋 氏 (株式会社Up's Consulting 代表取締役)

酒向 敦 氏 (サコウマネジメントオフィス 代表)

実施日：10月8日(火)、10月10日(木)、10月22日(火)、10月29日(火)、
11月6日(水)、11月12日(火)、11月26日(火)、12月10日(火)

会場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター／大宮ソニックシティ

参加者：10社12名

5 産学連携推進事業 (定款第4条第1項第1・2・4・6号)

(1) 産学連携推進事業

中小企業の総合支援センターとして産学連携プロジェクトマネージャーによる地域企業と大学、研究機関等との産学連携の推進、並びに産産連携について年間を通じたマッチング等のオープンイノベーションの推進により、新製品、新技術開発等の促進等を目指した。

1) 相談件数：510件

2) マッチング件数：51件

(内、16件について共同研究契約を締結し、共同研究を実施中)

3) 競争的資金獲得支援

国等の競争的資金の活用や申請書作成に関するアドバイス等、競争的資金獲得のための支援、及び採択事業における管理法人業務を実施した。

・競争的資金応募件数 5件

・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業 1件

・中小企業等事業再構築促進事業 1件

・中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金 1件

・成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業) 2件

・市村清新技術財団 新技術開発助成 1件

4) さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業

さいたま市内の研究開発型企業の研究者と国内大学等研究機関の研究者(学部生/大学院生)が研究開発現場における相互交流を通じ、企業研究者の研究開発力の向上、学生等のビジネスリテラシー向上およびキャリアサポート推進を目指した。

・支援件数：3件

6 次世代高度ものづくり企業の発掘と育成 (定款第4条第1項第1・2・3号)

(1) 次世代高度ものづくり企業の発掘と育成

「さいたまものづくりプラットフォーム」の運営を通じて、市内中小企業の大企業等への提案力向上を目指すとともに、年間を通じたビジネスマッチングを実施した。

1) ウェブサイト「ものづくりプラットフォーム」の運営管理

さいたま市域の研究開発型ものづくり企業のビジネスマッチング機会向上を図るため、財団本体のホームページと統合し、情報発信できるよう改善した。

2) 国内マッチング

①めぶき FG ものづくり企業フォーラム 2025 技術商談会

- ・開催日：令和7年3月18日（火） 会場：つくば国際会議場
- ・参加企業：0社

②品川区ものづくり・IT商談会

- ・開催日：令和6年11月12日（金） 会場：品川産業支援交流施設 SHIP
- ・参加企業：0社

③九都県市合同商談会 2024

- ・開催日：令和7年1月22日（水） 会場：さいたまスーパーアリーナ
- ・参加企業：6社

(2) 生産性向上支援

専門家派遣を行い、現場カイゼン手法のツールとして IT やロボット導入等を活用した支援を実施した。

- ・支援企業数：5社

7 リーディングエッジ認証企業支援事業 (定款第4条第1項第1・2・3号)

(1) 高度人材獲得・育成支援

認証企業が抱える人材の獲得、育成、定着、技術力や資質向上等に対するニーズや課題を調査し、専門家派遣等による課題解決に向けた支援を実施した。また、地域の大学等を通じて、学生とのネットワーク構築に努めた。

1) 専門家派遣による支援 実施：1社

2) 人事担当者向けセミナー

- ・開催日：1月27日 講師：株式会社シンミドウ
- ・会場：オンライン開催 参加者：4社

3) 合同企業説明会

- ・開催日：2月4日 会場：まるまるひがしにほん 東日本連携センター
- ・参加企業：6社

4) 人事担当者向けフォローアップセミナー（オンライン開催）

- ・開催日2月20日 参加企業：5社

5) 埼玉工業大学企業説明会

- ・開催日2月26日 会場：埼玉工業大学 参加企業：8社

6) 集合研修「新製品開発力マスターコース」実施。

- ・1日目：10月8日（火）
- ・事例から学ぶ～新事業・新製品開発の必要性～

講師：笛木醤油株式会社 十二代目当主 代表取締役社長 笛木 吉五郎

- ・自社の環境分析ワークショップ

講師：北村 航洋（中小企業診断士）

- ・ 2 日目：11 月 1 日（金）

- ・新規事業コンセプトメイキング

講師：赤坂 優太（中小企業診断士）

- ・ 3 日目：11 月 21 日（木）

- ・製造業の為の売れるマーケティング戦略&戦術

講師：木下 亮雄（PR コンサルタント）

- ・ 4 日目：12 月 12 日（木）

- ・ゼロから学ぶ原価計算

講師：平川 奈々（ベルカラーコンサルティング：中小企業診断士）

- ・ 5 日目：1 月 17 日（金）

- ・人の心を驚掴みにするプレゼンテーションの技術

講師：北田 健太（スティミュラス株式会社）

- ・ 6 日目：2 月 7 日（金）

- ・目標達成力を高める自己理解の方法

講師：西岡 幸子（Awesome!代表）

- ・新事業、新製品コンセプト発表会

7) 人的資本投資支援

認証企業における人材への投資を促進させ、人材の技術力や資質向上を図るため、研修参加費用の補助を実施（研修参加及び講師派遣を対象）。

- ・ 9 社 147 名の活用。

(2)イノベーション創出支援事業

認証企業が自ら保有する高度な技術力をベースに、企業の新たな成長の柱となる商品やサービスの開発を促進し新事業分野への展開を実現するため、次の支援を実施した。

1) 新事業展開・新製品開発における調査費補助事業

新たな市場を目指す認証企業の活動を促進するため、新事業可能性調査費、新技術の調査費、マーケット調査費、知的財産関連調査費などの補助を実施した。

- ・補助事業者：2 社

2) ソリューション提案力強化プログラム

新事業化後の収益向上を図るため、営業課題に合わせたカリキュラムを作成し、顧客への提案力強化を目的とした専門家派遣や集合研修を実施した。

- ・実施企業数：3 社

3) 事業機会創出支援

認証企業の知名度の向上や展開する事業のPR商談機会の獲得を促進するため、国内展示会への出展費の補助を実施した。

- ・補助事業者：6 社

(3)国際競争力向上支援事業

世界の市場に的確な戦略をもって国際展開を推進するためのサポートとして個社の課題の抽出、戦略立案・策定及び現地調査や国際展示会出展などのオーダーメイド型支援を実施した。

- ・国際展開戦略立案支援 実施：2社

8 医療ものづくり都市構想推進支援事業（定款第4条第1項第2・3号）

(1)医療ものづくり都市構想推進支援事業

さいたま市が掲げる「さいたま医療ものづくり都市構想」に基づき、研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野へ新規参入や事業拡大の支援を実施した。

1) 事業機会創出支援

①メディカルクリエーションふくしま 2024

- ・ 出展期間：9月27日（金）～28日（土）
- ・ 会場：ビッグパレットふくしま 出展者：4社

②メディカルジャパン東京 2024（医療・介護・薬局 Week 東京）

- ・ 出展期間：10月9日（水）～11日（金）
- ・ 会場：幕張メッセ 出展者：6社

③第40回日本小児外科学会秋季シンポジウム付設展示会

- ・ 出展期間：10月24日（木）～26日（土）
- ・ 会場：一橋講堂 出展者：4社

④第12回全国地方独立行政法人病院協議会総会付設展示会

- ・ 出展期間：11月7日（木）～8日（金）
- ・ 会場：ロイヤルパインズホテル浦和 出展者：1社

2) 試作品開発・商品化支援

医療機器関連分野の新規参入・事業拡大を目指す研究開発型の中小企業等が臨床現場や医学会などのニーズを踏まえつつ、自らが保有する技術力などの各種経営資源を活かし、新たな試作品の開発や製品化へ向けた販路開拓などに要する経費の一部を財団が補助する事業を実施した。財団の補助事業は、小口であり製品化へ向けたさらなる成長支援を加速する際には資金的に十分とはいえないため、国、埼玉県との競争的資金を獲得し、支援の加速、強化を図った。

①フレキシブル液体検知センサの開発 入口支援

- ・ 補助件数：1社
- ・ 補助額：100万円

②デジタル式低圧持続吸引機の開発 入口支援

- ・ 補助件数：1社
- ・ 補助額：100万円（1社100万円）

③抗菌・抗ウイルス性を有する新たな歯科用ユニットの試作開発と実現性検証支援 入口支援

- ・ 補助件数：1社
- ・ 補助額：100万円

④専門人材による臨床現場との連携促進支援

医療ものづくり推進アドバイザーと2名のコーディネーターを配置し、臨床現場や医療機器製販企業とのマッチング、事業化へ向けての支援を実施した。

- ・医療機器メーカー及び臨床現場ニーズとのマッチング実施：160件

9 国際展開支援事業 (定款第4条第1項第1・2・3号)

(1) 国際展開支援事業

平成23年度から継続しているドイツ・バイエルン州の医療クラスター及びニュルンベルク商工会議所等との交流を主軸とし、海外の先進技術との切磋琢磨を通じた自社技術のさらなる高度化や、海外展示会の活用を通じたグローバル市場開拓等を志向する研究開発型ものづくり企業に対し、外国企業との技術交流・商談の機会創出を行った。合わせて、令和元年にMOUを締結したニュルンベルク市との継続的な都市間交流を実施し、両市間の経済連携体制の構築および発展を目指した。

1) 国際展開のための経営基盤強化支援

- ・国際展開企業の発掘企業件数：10社（うち支援企業：6社）
- ・国際展開専門家派遣企業件数：1社

2) 国際展開セミナー

- ・開催日 6月17日（月）
＜題名＞ヨーロッパ、ドイツにおける自動車産業の現状と今後の展開
- ・登壇者：ホルガー・チューダイ氏
（バイエルンイノバティブ株式会社自動車クラスター部長）
久保 鉄男氏
（株式会社フォーイン 代表取締役社長）

- ・参加者：25名

3) 医療機器展示会「MedtecLIVE 2024」

- ・開催日：6月18日～20日
- ・場 所：ドイツ・シュツットガルト／メッセシュツットガルトホール
- ・出展者：3社

4) 医療機器展示会「MEDICA/COMPAMED 2024」

- ・開催日：11月11日（月）～14日（木）
- ・場 所：Messe Düsseldorf（ドイツ・デュッセルドルフ）
- ・出展者：7社

5) グローバルビジネス研修プログラム

- ・開催日：12月3日（火）～5日（金）
- ・場 所：ドイツ・ニュルンベルク、インゴルシュタット、ミュンヘン
- ・参加者：3社

6) ニュルンベルク市を中心した経済連携の推進

ニュルンベルク市とさいたま市は2019年11月経済分野に関する覚書を締結。5年更新のため、2024年7月今後の連携拡大を目指しさいたま市及びさいたま市産業創造財団からなる代表団を派遣し調印式を実施。

- ・実施日：7月17日（水）
- ・MoU（覚書）調印式

主な参加者：ニュルンベルク市長：マルクス・ケーニッヒ氏
ニュルンベルク商工会議所会頭：アーミン・チッツマン氏
在ミュンヘン日本国総領事：別所健一氏

JETRO ミュンヘン事務所所長：鷺澤純氏

- ・内容：今回の更新に伴い医療機器分野・メカトロニクス分野に、新たに自動車分野を加え、さいたま企業とドイツ企業の人材交流・技術交流の分野を拡大することにより、企業相互のトランスフォーメーション・イノベーションを促進し、更なる技術の高度化・国際競争力の向上を目指す。

(2) 新たな国際展開支援策に向けた調査

国内需要の伸び悩みに直面する中小企業にとって、国際展開は成長実現の好機となる。これまで国際展開に取り組んだことがないさいたま企業を含め、さいたま企業のニーズに応じた販路開拓等に資する効果的な取り組みを構築するためにアジア市場の調査等を行った。

1) ジェトロの海外現地事務所ブリーフィング調査

- ・調査国：8カ国

台湾、香港、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア
インドネシア、インド

2) 市内企業へのニーズヒアリング調査

- ・調査企業：10社

3) 海外現地調査

①ベトナム・タイ

- ・開催日：令和6年11月18日（月）～23日（土）
- ・場 所：ハノイ、バンコク
- ・訪問先：VASI（ベトナム裾野産業）、ハノイ工科大学、NC ネットワークベトナム、ベトナム商工省、タイ工業省（DPRM）、タイ商工会議所、キングモンクッド工科大学、日系企業、ローカル企業等

②インド

- ・開催日：令和7年1月20日（月）～25日（土）
- ・場 所：チェンナイ、ベンガルール
- ・訪問先：AIEMA（アバントゥール工業団地製造業者団体）、CII（インド産業連盟）、SRM 大学、インド工科大学、StartupTN（FaMe TN）、BCIC（ベンガルール商工会議所）、日系企業、ローカル企業等

③マレーシア

- ・開催日：令和7年3月4日（火）～6日（木）
- ・場 所：クアラルンプール、セランゴール、ペナン、ケダ
- ・訪問先：Invest Selangor、マレーシア中小企業公社、CYBERVIEW SDN BHD、クリム工業団地、マレーシア日本商工会議所、日系企業等

10 オープンイノベーション推進支援事業（定款第4条第1項第1・2・3号）

(1) オープンイノベーション推進支援事業

さいたま地域企業の安定的な企業運営、今後の事業機会の確保及び効果的な販路拡大につなげるために、年間を通じて、オンライン商談会を開催した。

- ・技術提案数：278件 商談件数：257件

(2) 埼玉県との連携による高度人材育成支援事業

埼玉県及び公益財団法人埼玉県産業振興公社と連携し、企業内にある経営課題をデータサイエンス知識の活用で解決へ導く人材の育成を目指し、座学と e-Learning によるインプットの研修と、研修参加企業の個別課題解決に対する伴奏支援を行った。

・座学研修：3回、e-Learning 講座、伴走支援：6社

1.1 融資事業 (定款第4条第1項第11・12号)

(1) 融資事業

1) さいたま市中小企業融資制度及び公的融資制度の周知

①市内3金融機関（青木信用金庫、川口信用金庫、東和銀行）に対して、制度融資の案内を実施（金融機関連携成長支援事業の事業説明会と同時開催）

・実施回数：19回

②中小企業者及び創業者の融資の相談

・中小企業者相談件数：1,382件（来客者：286件、電話等：1,096件）

・創業者相談件数：286件

③中小企業信用保険法第2条第5項及び第6項に規定されている特定中小企業の認定等に係る相談、受付及び要件確認

・相談、要件確認件数：241件

・受付件数：241件（4号認定：102件、5号認定：139件）

2) さいたま市中小企業融資の受付

○申込件数及び金額合計 889件 10,718,282千円

(内訳)

・小口資金	106件	750,470千円
・中口資金	509件	5,753,215千円
・創業支援資金	170件	1,384,817千円
・セーフティネット資金	7件	205,000千円
・SDGs企業支援資金	28件	883,000千円
・経営力強化資金	25件	620,860千円
・伴走支援型特別資金	44件	1,120,920千円

1.2 競争的資金事業 (定款第4条第1項第2・6号)

(1) 成長型中小企業等研究開発支援事業 (旧サポイン事業)

経済産業省関東経済産業局の委託を受け、Go-Tech 事業管理機関としてプロジェクトを運営した。

・令和5年度からの継続案件：1件

・令和6年度新規案件：2件

1.3 先端技術動向等調査・研究事業 (定款第4条第1項第2・3・4・7号)

(1) 中堅企業等に関する先進事例の調査および市内企業へのニーズ調査

地域経済や雇用に大きな影響力を持ち、今後さらなる成長と波及効果が期待される中堅企業への効果的な支援モデル構築を目的に、先進地域における中堅企業支援の事例調査・視察、ならびに市内の中堅企業やそれに準ずる企業へのヒアリング調査を実

施した。

1) 先進地域の調査

国・都道府県・政令市等において中堅企業に適用可能な支援を分野、支援種類などに分け、調査・分類した。

2) 先進自治体へのヒアリング

中堅起業支援として先進的な取組を行っている、山口県の「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」事業の内容の確認や、支援を受けている中堅企業のヒアリング調査を関東経済産業局、埼玉りそな産業経済振興財団と共に視察し調査を実施した。

・視察日：令和7年3月7日（金）

3) 市内企業へのヒアリング

市内の中堅企業及び中堅企業への成長が見込まれる企業を約130社抽出し、その中から以下の10社に対し、現状と今後のニーズについてヒアリングを実施した。

- ・株式会社タムロン
- ・株式会社アイル・コーポレーション
- ・株式会社千代田工営
- ・株式会社でんきち
- ・株式会社 AGS
- ・株式会社サイサン
- ・株式会社アルファクラブ武蔵野
- ・株式会社タウ
- ・株式会社武蔵コーポレーション
- ・株式会社リズム

1 4 勤労者福祉事業（定款第4条第1項第3・8・9・10号）

(1) 勤労者福祉に関する調査研究事業

中小企業勤労者の要望に即した勤労者福祉の事業を実施するため、余暇施設、余暇活動及び福利厚生等について調査研究を実施した。

1) (一社) 全国中小企業勤労者福祉サービスセンター会議

- ・総会 実施日：6月11日（火）
- ・業務運営研修会 実施日：7月9日（火）（オンライン）
- ・関東ブロック協議会 関東第IV地区運営委員会 実施日：7月19日（金）
- ・実務担当者研修会 実施日：9月6日（金）
- ・東ブロック会議 実施日：10月10日（木）～11日（金）
- ・西ブロック会議 実施日：11月7日（木）～8日（金）
- ・関東ブロック協議会 実務担当者研修会 実施日：令和7年1月22日（水）

2) 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会

- ・総会 実施日：5月23日（木）
- ・事務局長会議 実施日：（第1回）7月23日（火）
（第2回）令和7年3月6日（木）

- ・担当者会議 実施日：(第1回) 6月14日(金)
(第2回) 11月14日(木)
(第3回) 令和7年2月21日(金)

3) 指定都市中小企業福祉共済団体連絡会議 実施日：10月17日(木)～18日(金)

(2) 中小企業勤労者の福利厚生事業

1) 慶弔等給付事業

・慶弔等給付： 1,050件

2) 健康維持増進事業

・人間ドック、脳ドック受診料補助： 380件
・スポーツ施設等補助： 10件

3) 余暇活動援助事業：

①宿泊・日帰りバスツアー補助事業 210件

②レジャー施設等の割引及び補助事業

・TDR利用補助： 4,573件
・その他レジャー施設利用補助： 1,529件
・ローソンチケット利用補助： 1,902件
・アソビュー！利用補助 975件
・日帰り温泉&温浴施設利用補助： 3,059件
・市内飲食店利用補助： 826件
・まるまるひがしにほん 買い物補助： 368件

③各種チケットのあつ旋

・東武動物公園フリーパス： 700件
・レジャー施設入館券(西武園等)： 203件
・ジェフグルメカード： 929件
・レストラン食事券： 118件
・図書カード、クオカード等： 1,553件
・コンサート、観劇、美術展等： 180件
・スポーツ観戦チケット(巨人戦等)： 59件

④レクリエーション事業

・収穫体験(ブルーベリー狩り、いちご狩り等)： 387件
・産地直送品あつ旋(メロン、白桃、次郎柿等)： 415件

(3) 勤労者福祉に関する情報提供事業

中小企業勤労者の要望に応じた勤労者福祉事業の紹介及び当センターが実施する各種事業等についての最新情報を提供した。

- ・会報誌「ワークジョイさいたま」発行： 4,200部発行(4・7・10・1月)
- ・ガイドブックの発行： 10,500部発行(年間1回)
- ・ホームページの運営
- ・SNSの運営(LINE、X、Facebook、Instagram)

(4) 勤労者福祉事業の推進に関する事業

勤労者福祉の向上や安定した事業運営を図るため、会員数拡大に向けた取り組みを行った。

1) 会員数及び事業所数の推移

年 度	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度
会 員 数	8,110 人	8,434 人	8,278 人
事業所数	834 所	814 所	784 所

2) 事業推進員による加入促進

事業推進員（1名）による訪問事業所数：1,011 事業所

3) 会員数拡大キャンペーン等の実施

①未加入事業所対象 入会金会費無料キャンペーン

- ・実施期間：6月26日（水）～9月30日（月）
- ・入会者数：9事業所 104名

②未加入事業所対象 入会金会費無料キャンペーン

- ・実施期間：12月26日（木）～3月31日（月）
- ・入会者数：13事業所 146名

③既存入会事業所対象 追加入会促進キャンペーン

- ・実施期間：10月1日（火）～12月25日（水）
- ・入会者数：164名

④金融機関と連携した会員数拡大事業（通年）

- ・7金融機関（埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、城北信用金庫）
- ・入会実績：1事業所 49名

4) 各種メディア等を利用した広報啓発に取り組んだ。

- ・さいたま市産業創造財団 HP
- ・さいたま市産業創造財団 SNS（LINE、X、Facebook、Instagram）
- ・さいたま市 HP
- ・市報さいたま
- ・市関係機関へのパンフレット配架
- ・大宮経済新聞、浦和経済新聞のバナー広告
- ・彩の国ビジネスアリーナへのブース出展
- ・ダイレクトメール（延べ4,000件）
- ・販促品作成（卓上カレンダー、モバイルスタンド）
- ・市デジタルサイネージ広告（さいたま新都心駅前等）
- ・さいたま商工会議所会報誌への折込広告（3回合計36,000部）
- ・「大宮薪能」への広告（協賛）
- ・「ばらまつり2024」への広告（協賛）
- ・「令和6年度さいたま市花火大会」への広告（協賛）

15 職員厚生事業 (定款第4条第1項第13号)

(1) 職員厚生事業

職員の福利厚生の一環として設けている「職員厚生給与金規程」に基づき、職員厚生給付金を支給した。

・結婚給与金	: 1件	50,000円
・出産給与金	: 1件	30,000円
・入学・卒業祝金	: 2件	40,000円
・死亡弔慰金	: 2件	100,000円
・宿泊施設利用給与金	: 9件	90,000円
・退職慰労金	: 1件	100,000円
・予防接種給与金	: 5件	24,000円
・ワーク・ライフ・バランス支援給与金	: 8件	80,000円
・スポーツ応援給与金	: 2件	6,000円
・フィットネス支援給与金	: 5件	41,980円

2 資金調達等についての状況 (重要なものに限る)

該当なし

3 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:千円)

事業年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益計	796,695	695,272	663,600
当期一般正味財産増減額	△19,735	△2,937	△267
資産合計	537,545	458,268	482,840
負債合計	276,847	200,665	225,504
一般正味財産期末残高	60,540	57,604	57,336
指定正味財産期末残高	200,157	200,000	200,000

4 重要な契約に関する事項

該当なし

5 会員等に関する事項 (勤労者福祉サービスセンター事業会員数)

種類	前期末	当期末	前期末比増減
会員数	8,434人	8,278人	△156人
事業所数	814所	784所	△30所

6 理事会、評議員会等に関する事項

(1) 理事会

1) 第1回理事会（定例理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 6月3日	第1号議案 令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について	可決
	第2号議案 令和5年度計算書類等（資金収支計算書、計算書類及び附属明細書並びに財産目録）の承認について	可決
	第3号議案 非常勤職員及び臨時職員の年次有給休暇付与基準を同一とする等の当該職員の就業規程の一部改正について（専決処分）	可決
	第4号議案 懲戒処分手続きの明確化等に伴う当財団就業規則等の一部改正について	可決
	第5号議案 生活資金融資預託金廃止等に伴う特定資産取扱規程の一部改正について	可決
	第6号議案 令和6年度第1回評議員会（定時評議員会）招集の決定について	可決

2) 第2回理事会（臨時理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 6月19日	第7号議案 理事長1名選定について	可決
	第8号議案 常務理事1名選定について	可決

3) 第3回理事会（定例理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 9月2日	報告事項 職務執行状況の報告について	
	第9号議案 令和6年度第1回資金収支補正予算（専決分）の承認について	可決

4) 第4回理事会（臨時理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 12月11日	第10号議案 令和6年度第2回資金収支補正予算（専決分）について	可決
	第11号議案 公益財団法人さいたま市産業創造財団職員厚生給与金規程の一部改正について	可決
	第12号議案 令和6年度第2回評議員会（臨時評議員会）の招集について	可決
	第13号議案 公益財団法人さいたま市産業創造財団役員報酬等に関する規程の一部改正について	可決

5) 第5回理事会（定例理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和7年 3月7日	報告事項 職務執行状況の報告について	
	第14号議案 役員賠償責任保険の加入継続について（専決分）	可決
	第15号議案 職員給与規程の一部改正について（専決分）	可決
	第16号議案 令和7年度事業計画及び収支予算について	可決
	第17号議案 役員報酬等に関する規程の一部改正について	可決
	第18号議案 役員等の費用弁償に関する規程の一部改正について	可決
	第19号議案 理事会運営規程の一部改正について	可決
	第20号議案 就業規程等の一部改正について	可決
	第21号議案 令和6年度特定費用準備資金について	可決

(2) 評議員会

1) 第1回評議員会（定時評議員会）

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 6月19日	報告事項 令和5年度第2回～第5回資金収支補正予算について	
	報告事項 令和5年度事業報告及び附属明細書について	
	報告事項 令和5年度資金収支計算書について	
	報告事項 令和6年度資金収支当初予算について	
	第1号議案 令和5年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認について	可決
	第2号議案 評議員10名の選任について	可決
	第3号議案 理事11名の選任について	可決
	第4号議案 監事2名の選任について	可決

2) 第2回評議員会（臨時評議員会）

開催年月日	議事内容	結果
令和7年 1月27日	報告事項 令和6年度第1回～第2回資金収支補正予算について	
	第6号議案 評議員1名の選任について	可決
	第7号議案 公益財団法人さいたま市産業創造財団定款の一部改正について	可決
	第8号議案 公益財団法人さいたま市産業創造財団評議員及び監事の報酬等に関する規程の制定について	可決
	第9号議案 役員報酬等の総額上限について	可決

(3) 監査会

開催年月日	議事内容	結果
令和6年 5月17日	令和5年度事業、決算及び会計帳簿の監査	承認

7 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし

8 対処すべき課題

該当なし

Ⅲ 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にありませんので作成していません。